

# 事業計画書

事業名	AEDの正しい使用法を広めたい事業
団体名	デフィブリーるの会

★貴団体が申請する事業について、お伺いします。

1. どのような地域課題を解決したいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。

- ・平成22年8月現在、松戸市内に設置されているAEDは「282台」です。
- ・全国の統計では、2008年に心肺停止の発症事例に対して、市民の手でAEDが使用された件数はわずかに約430件で使用率は2.1%の低率であったと報告されています。
- ・松戸市内でも昨年心肺停止で病院に搬送された事例は200名ほどでしたが、その内AEDによって救急救命を施された件数は5件(2.5%)と全国平均と同様に低い使用率でした。
- ・このことは松戸においてもAEDを知ってはいるが、使い方や馴染が無いなどでAED救命に尻込みするなど、普通に使用される段階に至っていない状況を示していると考えられます。
- ・私達は「まずAEDを手にとって」、その「正しい使い方を少しでも広める」ことに寄与したいと思います。

2. それらの課題を解決することで、どのような地域にしたいのかを記載してください。

- 松戸市内でのAEDの使用件数、使用率を増やしたい。
- ・AEDについての指導は一般的に救急隊に委ねられていますが、私達の会は「もっと気軽にAEDに触れて慣れてもらうこと」が大切だと思っています。
- ・地域の団体、事業所、個人の集まりの方から気軽に要望をいただき、「救急救命とAEDについての実習の会」を手軽に実施していくことで、「AEDに対する抵抗感」を少しでも払拭する事に役立ちたい。
- ・その少しずつの積み重ねが「いざと言うその時、少しでも適切な対処ができる」事に役立って欲しい。
- ・松戸でのAEDの使用率が、他の市町村より少しでも高くなってほしい。

3. どのような地域課題の解決につながるのかが、分かるように事業内容を記載してください。

・事業内容

★ 私たちの会の会長は現役の救急の医師です。顧問や理事にも医師が加わっています。このスタッフがAEDの使用法や救急救命の指導、講演にあたります。

● 「AEDってなに？ まずAEDの事を知ってもらう活動」

- ・パンフレット、チラシ、地域紙、広報紙でのPR
- ・HP、ブログの活用(現行HP・ブログ見直し)

● 「AEDの正しい使い方を広げる場作り」

- ・「まずAEDを手にとって貰う」場作り…救急救命の初期対処実習
- ・AEDを消火器並みに普通に扱ってもらう体験の場作り

・想定スケジュール(事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください)

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月～6月	・病院祭出展 ・講習会	・松戸市内、鎌ヶ谷市内病院 ・団体、事業体要請
7月～9月	・防災の日 講習会 ・夏祭り体験会	・町会(小金原)要請 ・町会要請
10月～12月	・音楽界で講話 ・幼稚園体験会 ・病院祭出展、 ・福祉フェア体験実演会	・森のホール ・市内AED設置幼稚園要請 ・船橋市内病院 ・小金原福祉協議会要請
1月～3月	・市内小学校講習会 ・松戸市見本市参加 ・キャラバン見本市参加 ・団体研修会で体験会	・中部、北部 PTA 要請 ・市行事 参加  ・NOP 団体 要請

4. 事業に取り組む上での達成目標を記載してください

※事業目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載してください。

★昨年、当会が対応した体験者数は1回の催し当り≒15名程度(除く、見本市や講話)で、延べ 200名程度でした。よって、一層多くの一般の方に「AEDに馴染んでもらう」ために、以下の優先順位で取り組む。

- 1) 幼稚園、小学校の園児、児童に見せる。PTA で啓蒙、普及の場作り。
- 2) 町会、団体、個人の集会で啓蒙普及の場作り
- 3) 催し会場で体験の場作り
- 4) 医師による講話会、講演会(主に会長対応)

★これらの場を踏まえ、AEDの必要性と重要性を知る人々が少しでも多くなって欲しいと願います。

★これらの活動で松戸市内での AED 利用率が現在の 2.5%から、今後 5%、そして10%へと上昇し、ひいては救命率の向上につながって欲しい。

5. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

- ①当会の存在と手続きの手軽さを知ってもらうために、パンフレットなどを作成する。
- ②講演、講習、体験会をより充実させるため訓練用用具の充実に努める。
- ③外部インストラクター、救急専門研究員の招聘など任意団体の柔軟性を生かした会を開催して行く。

以上

## 事業の予算計画書

### 【収入】

	(自己資金) 寄付金 繰越金など	金額	積算内訳
			200,000 円
申請者		200,000 円	
	自己資金合計 (a)	200,000 円	
市	助成金申請額 (b)	100,000 円	
	収入合計 (c) (a+b)	300,000 円	

### 【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

### 【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	パンフレット製作費	40,000 円	5,000 枚 * 8 円 = 40,000 円
	講師謝礼金	30,000 円	10,000 円 * 3 回
	AED レンタル料	50,000 円	1 回 2,500 円 * 20 回
	対象となる経費合計額 (d)	120,000 円	
その他	会議、消耗品	60,000 円	
	備品代	120,000 円	訓練用人形 (60,000 * 2 体)
	その他経費合計額 (e)	180,000 円	
	事業費 (f) (d+e)	300,000 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にしてください。